

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム
モデルカリキュラム改訂に関する特別委員会（第3回）議事要旨

日 時：令和6年1月22日（月）14：00～15：20

場 所：Zoomによるオンライン会議

出席者：河合玲一郎（東京大学・教授）、孝忠大輔（日本電気株式会社 AI・アナリティクス統括部長）、駒木文保（東京大学・教授）、瀬戸川昌之（滋賀県教育委員会事務局・主幹）、林和則（京都大学・教授）、巳波弘佳（関西学院大学・副学長・教授）、ルゾンカ典子（コスモエネルギーホールディングス株式会社・常務執行役員 CDO）、小野陽子（横浜市立大学データサイエンス学部・准教授）、菅由紀子（株式会社 Rejoui・代表取締役）

陪席者：奥井（文部科学省専門教育課課長補佐）、笠原（文部科学省専門教育課主任）、高木（内閣府科学技術・イノベーション推進事務局政策調査員）、森（東京大学・准教授）、鶴岡（数理・データサイエンス・AI コンソーシアム事務局）

資料1の前回議事要旨（案）を確認し、原案のとおり承認された。

議 事

1 数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）モデルカリキュラム改訂（案）について

事務局から、資料2及び3に基づき、前回の委員会並びに有識者からの意見を踏まえ改訂したリテラシーレベル及び応用基礎レベルの数理・データサイエンス・AI モデルカリキュラムについて、説明があり、各委員により意見交換を行った。続いて参考資料1から3に基づき、有識者から聴取した意見について、意見交換を行った。

2 今後の委員会スケジュールについて

河合主査から、モデルカリキュラム改訂案の承認までの予定として、今回の委員会での意見を反映したモデルカリキュラム改訂案を特別委員会にてメール審議したのち、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム運営会議での議を経て承認される旨、説明があった。なお軽微な修正は主査に一任されることとなった。

以上